

有明高専だより

第50号
有明工業高等専門学校
〒836・大牟田市東萩尾町150
TEL 0944 53 1011
印 刷・重富オフセット

九月の授業のはじめに

校長 吉村虎蔵

一昨年の十一月の三名の交通事故、昨年八月末の水死事故と、本校では学生の悲しい事故死が続きましたが、この十二ヶ月間事故がなく、今日は全員元気な姿で登校でき、ありがとうございます。九月のはじめですから、三の所感を述べることに致します。

高専体育大会

第十九回九州地区高専体育大会では、本校はサッカー、柔道、バレーボールの三種目の競技の世話を担当しました。長崎大水害の七月二十三日から三日間、今日の運動場からは想像もつかない豪雨とぬかるみの中で、各校の選手はユニホームの色も識別出来ない程になつて健闘しました。おそらく一生思い出に残る競技になつたことだと思います。サッカーでも、また本校体育館でのバレーボール、大牟田市民体育館での柔道でも、本校選手はよく健闘致しました。その成績は、先程主事の先生が報告された通りです。またこの大会の運営には多くの女子学生・クラブ学生諸君が裏方をして協力してくれましたし、教職員の方々も運日の豪雨の中で殊の外に御尽力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

第十七回全国高専体育大会は、

休暇中の當舡工事

専生の親睦と友愛の輪を大きく広げて下さい』の言葉が印象的でした。一年間かけて準備をしたという歓迎会では、学生会がつくった郷土紹介のスライド・旅行・市内散策案内のパンフレット、長崎豪雨禍の遠来の客佐世保高専選手おもてなし等が綺麗になつたことを喜んでいます。

地球が危い

一、二、三年生は、今日一般講義棟の壁・天井が綺麗になつたことには驚いたでしょう。ペンキ工事は、ペンキを塗るだけと我々は単純に考えがちですが、実は大変な仕事です。本校の壁はセメントモルタル仕上げの壁ですから、塗装に先立って、グラインダーで旧ユーニットの壁面を削り、ペンキを完全に剥ぎとる作業がますますスチーナー、ジャバ、バブニア等の機械で行なわれます。

この度の業者は誠心誠意、諸君が集つたとき、私がいつもいへる所です。埃と暑さの室内で防塵マスクをかけてのひどい作業で、その後、バテによる壁の平滑化直し等と沢山の工程を踏みます。この度の業者は誠心誠意、諸君のために心をこめて作業をされたと感じています。

感謝して、帰路の夕闇の森の中を歩きながら、有明高専の多くの教職員、沢山の学生諸君にもこの感激を味合せたかったと思いました。それが高専教育、高専生活、クラーク

献血事業に協力有難う

七月三十日、昨年に引き続いて本岡県献血事業推進大会で表彰された。

交通の多様化に伴う事故の増加による保護作業、廊下一面のビニールシートによる保護、下塗り上塗り、この様な社会の緊急の要求に対して献血事業が大きな役割を果す。その後、バテによる壁の平滑化直し等と沢山の工程を踏みます。この度の業者は誠心誠意、諸君が集つたとき、私がいつもいへる所です。埃と暑さの室内で防塵マスクをかけてのひどい作業で、その後、バテによる壁の平滑化直し等と沢山の工程を踏みます。この度の業者は誠心誠意、諸君のために心をこめて作業をされたと感じています。

感謝して、帰路の夕闇の森の中を歩きながら、有明高専の多くの教職員、沢山の学生諸君にもこの感激を味合せたかったと思いました。それが高専教育、高専生活、クラーク

環境保全の責任の一端を荷なう技術者として、これから育つ諸君にとつて、いま、学校のあわゆる意味で、自分自身が作業をした気持になつて、この新しい環境を大切にして下さい。そして新しいさわやかな氣持で、勉強に、読書に、スポーツに励んでいただきたい。

寄宿舎の浴場とボイラーも改修が終りました。寮生諸君は今夕から使用できます。ステンレス浴槽が中央に来て、周囲が洗場・シャワー、脱衣場も広くなり、本校自慢の施設の一つになつたと考えています。

岡県献血事業推進大会で表彰された。

この様な社会の緊急の要求に対して献血事業が大きな役割を果す。その後、バテによる壁の平滑化直し等と沢山の工程を踏みます。この度の業者は誠心誠意、諸君が集つたとき、私がいつもいへる所です。埃と暑さの室内で防塵マスクをかけてのひどい作業で、その後、バテによる壁の平滑化直し等と沢山の工程を踏みます。この度の業者は誠心誠意、諸君のために心をこめて作業をされたと感じています。

感謝して、帰路の夕闇の森の中を歩きながら、有明高専の多くの教職員、沢山の学生諸君にもこの感激を味合せたかったと思いました。それが高専教育、高専生活、クラーク

持し、機会があればまた病める人の健康故にできること、日常生活の内容を一層高めて心身の健康を維持するための活動に力をこなつていただきたい。お互いに名前も知らぬ間柄の助け合い故に一層心温まる思いがす

るの筆者だけであろうか。

すき間にこのブロックを敷き詰め
モルタル塗仕上げされている。

さらに、空気取入れおよび空気吹出しチャンバーの架構や鉄板間仕切壁のベンキ塗である。建設後年月が経過しているものもあり、錆がひどくなっている部分の補修である。柱・梁等の鋪落し、ベンキ塗りには命綱を使用して行うことに心がけた。学生の中には高い所に登るのが好きなものが多く、つい危険な姿勢をとったり、行動が大胆になつたりするため、安全確保には細心の注意を払い作業が進められている。

一方、振動台の油圧装置はピット内に納められている。このピットの上に敷く床板の設計を現在行っている。設計に際して、床板は厚さ6mmのしま鋼板を用い、裏面にはリブが取りつけられる。これと比較しても遜色ない出来ばえである。

以上、実習内容について羅列してきたが、これらの工事一つ一つに创意工夫が施され進められており、また、安全に対する配慮は充分過ぎる程徹底しており、現在まで無事故で作業が続けてこられたのが納得出来るようである。

実習も作業と共に本年度より、一部実験も組み込まれるようになり、実験・解析の時期へと移りつつある。この総合実習を通して、学生諸君の積極的な学習意欲の向上に期待する。（建築三毛）

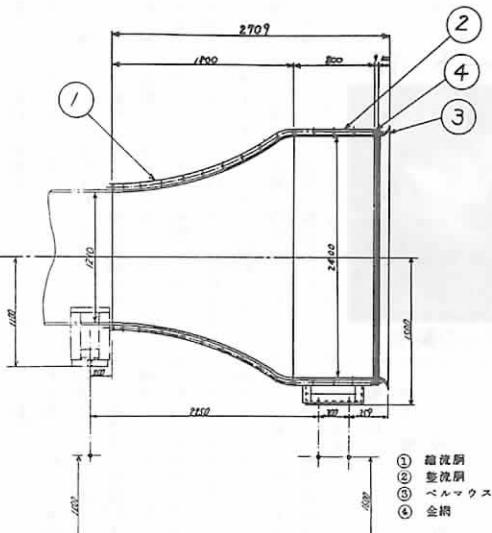


写真2. 縮流部設計図



写真4. 完成したフィルター

写真3. 空気取入チャンバー
フィルターの製作

写真6. 風洞基礎型枠製作



写真5. 風洞基礎鉄筋組立

およびピット床の設計

環境開発共同教育研究施設の中に設置されている地震災害シミュレーション装置（略して振動台）の試験体を乗せるテーブルの製作である。自作可能な物は購入する必要なし。振動台テーブルもこの精神から実習テーマの一つとして加えられ製作されたものである。ほぼ完成したテーブルは業者との比較しても遜色ない出来ばえである。

ト内に納められている。このピットの上に敷く床板の設計を現在行っている。設計に際して、床板は厚さ6mmのしま鋼板を用い、裏面にはリブが取りつけられる。これが納得出来るようである。

一部実験も組み込まれるようになり、実験・解析の時期へと移りつつある。この総合実習を通して、学生諸君の積極的な学習意欲の向上に期待する。（建築三毛）

らは人がすべらないように、床板の横れ防止に注意が払われ、また、機械点検時には少人数で簡単な取りはずしが出来るような大きさに設計されている。

以上、実習内容について羅列してきたが、これらの工事一つ一つに创意工夫が施され進められており、また、安全に対する配慮は充分過ぎる程徹底しており、現在まで無事故で作業が続けてこられたのが納得出来るようである。

実習も作業と共に本年度より、一部実験も組み込まれるようになり、実験・解析の時期へと移りつつある。この総合実習を通して、学生諸君の積極的な学習意欲の向上に期待する。（建築三毛）

さらに、空気取入れおよび空気吹出しチャンバーの架構や鉄板間仕切壁のベンキ塗である。建設後年月が経過しているものもあり、錆がひどくなっている部分の補修である。柱・梁等の鋪落し、ベンキ塗りには命綱を使用して行うことに心がけた。学生の中には高い所に登るのが好きなものが多く、つい危険な姿勢をとったり、行動が大胆になつたりするため、安全確保には細心の注意を払い作業が進められている。

一方、振動台の油圧装置はピット内に納められている。このピットの上に敷く床板の設計を現在行っている。設計に際して、床板は厚さ6mmのしま鋼板を用い、裏面にはリブが取りつけられる。これが納得出来るようである。

以上、実習内容について羅列してきたが、これらの工事一つ一つに创意工夫が施され進められており、また、安全に対する配慮は充分過ぎる程徹底しており、現在まで無事故で作業が続けてこられたのが納得出来るようである。

実習も作業と共に本年度より、一部実験も組み込まれるようになり、実験・解析の時期へと移りつつある。この総合実習を通して、学生諸君の積極的な学習意欲の向上に期待する。（建築三毛）

さるに、空気取入れおよび空気吹出しチャンバーの架構や鉄板間仕切壁のベンキ塗である。建設後年月が経過しているものもあり、錆がひどくなっている部分の補修である。柱・梁等の鋪落し、ベンキ塗りには命綱を使用して行うことに心がけた。学生の中には高い所に登るのが好きなものが多く、つい危険な姿勢をとったり、行動が大胆になつたりするため、安全確保には細心の注意を払い作業が進められている。

一方、振動台の油圧装置はピット内に納められている。このピットの上に敷く床板の設計を現在行っている。設計に際して、床板は厚さ6mmのしま鋼板を用い、裏面にはリブが取りつけられる。これが納得出来るようである。

以上、実習内容について羅列してきたが、これらの工事一つ一つに创意工夫が施され進められており、また、安全に対する配慮は充分過ぎる程徹底しており、現在まで無事故で作業が続けてこられたのが納得出来るようである。

実習も作業と共に本年度より、一部実験も組み込まれるようになり、実験・解析の時期へと移りつつある。この総合実習を通して、学生諸君の積極的な学習意欲の向上に期待する。（建築三毛）